

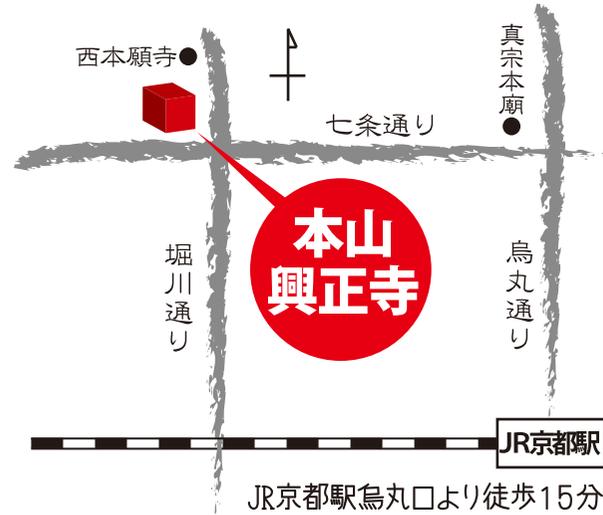
本山だより



第46号

平成26年
9月

アクセスマップ



真宗興正派本山興正寺全景

真宗興正派 本山興正寺

〒600-8261 京都市下京区堀川通七条上ル
TEL 075-371-0075(代) FAX 075-371-8509

本山興正寺

検索

教えて、テンマくん!



エントンくん

ケオンちゃん

お焼香をする時に、とまどってる人を時々見かけるわよね。正しいやり方ってあるのかしら？

私たちの宗派(真宗興正派)では、まずご本尊に一礼して、香を2回くべるんだ。この時おでこの前でいただくということはしないよ。そして合掌、礼拝、最後にもう一度ご本尊に一礼。

ちなみに焼香にはどういう意味があるか知ってるかな？

焼香は仏さまのまわりをおごそかに整えると同時に、私たちの煩惱に満ちた体と心を清らかにするという意味もあるんだよ。

テンマくん



御誕生850年に向けて

—今こそ、宗祖としての親鸞聖人に出会いましょう—

御誕生850年・立教開宗800年

いよいよ、9年後に親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年を迎えようとしています。宗門では、慶讃法要を厳修する準備をスタートさせました。ところで、その法要の本当の意味をご存じですか。また、その法要に向かって僧俗共々に歩みを共にしようという声が聞こえてきますか…。

さて、混迷を極める時代社会の真っただ中を生きる私たちの生きざまはどうなっているのでしょうか。この世の幸福を飽かなく執着心で求め続け、自己満足に終始していると言わざるを得ません。まさしく人間が人間でなくなった私たち…。果たして、人間として生きていけるのでしょうか。

今こそ、宗祖としての親鸞聖人に出会い直す決定的な瞬間です。聖人がこの世に生まれられたことと、『顕浄土真実教行証文類』に託して真宗を濁世に開かれたことの意味を問い直していきませんか。そして、浄土の真宗という人間成就の道を、深い懺悔と共に力強く歩み出してみませんか。聖人の本当の意味に大きな目覚めをいただきたいものです。



宗祖としての親鸞聖人

さて、親鸞聖人の本当の意味とは何でしょうか。ともすれば、私たちは聖人を歴史上の1人の人格として、一部分ばかりを見てきたのかもしれない。それは「親鸞に還れ」との叫びに象徴されるのですが、どうやら、その見方は聖人を歴史の彼方に追いやってしまったようです。

そうではなく、1人の人格を超えて、今もなお今現在説法し続けてくださる大切な師、つまり宗祖としての親鸞聖人と仰ぐことこそが、聖人の本当の意味に出遇っていくことにほかならないのです。そのとき、私たちは「私が私に生まれてきてよかった」。そして「あなたに出遇えてよかった」と、人としてこの世に生まれたことを心からよろこぶ身とさせていただけるのです。このように、私たちを励まし、促し、目覚めを与え続けてくださる宗祖としての親鸞聖人、そこにこそ聖人の本当の意味があるのです。



興隆正法運動の願い

そのような親鸞聖人の本当の意味に出遇うことの実現のために、現在、宗門では興隆正法運動を展開しております。それは「たった1人でもよい、如来の本願の真実に出遇ってほしい」との聖人の願いを明らかにしていく信仰運動です。

興隆正法運動…それは興正派だけにとどまるものではありません。真宗全体に、そして人類に貫かれた大切な信仰運動なのです。さあ、たった今、親鸞聖人の本当の意味を尋ねる浄土真宗という仏道を力強く歩みはじめましょう。そして、御誕生850年・立教開宗800年の慶讃法要には、興隆正法運動が絶頂の極みを迎え、瑞々しい念仏者がこぼれ出るように生まれ出て、お念仏の声が高らかに興らんことを心から願ってやみません。未来に続く興隆正法の願い…終わらなき歩みを皆さま共々に歩んでまいりましょう。



富田林興正寺別院が 国の重要文化財に

文化庁は平成26年5月に富田林興正寺別院の本堂、対面所、鐘楼、鼓楼、山門、御成門の6棟を重要文化財として指定し、文部科学大臣に答申しました。この結果、官報告示を経て重要文化財に指定されることとなります。

「江戸時代末期に整えられた境内が良好に維持されており、富田林寺内町の歴史的景観に欠くことのできない存在として貴重」「寛永15年(1638)に再建された本堂は、近畿地方における最古級の真宗本堂であり、古式な平面や構造と江戸時代初期の装飾細部を兼備し、初期の真宗本堂の成立過程を知る上で価値がある」と高く評価されました。

富田林興正寺別院

◇ところ 大阪府富田林市富田林町13-18
TEL.0721-23-3555

◇アクセス 近鉄長野線富田林駅から徒歩10分